

令和元年度 第2回庄内町行政改革推進委員会 会議録【要旨】

- 1 開催日時 令和元年11月13日(水) 15時～16時45分
- 2 開催場所 庄内町役場 第二会議室
- 3 出席委員 伊藤和美、小野英一、齋藤俊勝、長南美香、早坂和彦、工藤隆
- 4 欠席委員 長南直樹
- 5 事務局等 海藤総務課長、齋藤改革推進係長、佐藤主任

(15:00)

1 開 会 総務課長

2 あいさつ 小野委員長

3 協 議

(1) 令和元年度事務事業評価について

【事務局】資料に基づいて説明。

【委員長】今年度の事務事業評価報告書への回答がありますが、検討しますというものが多いようですが、気づいたことなど、ご意見がある方からお願いします。

【委 員】「いつまで」という視点が欠けている。「いつまで」検討するのか、結論を出す、廃止するといったことがなく、評価だけを続けているようだ。

【委 員】評価シートを見ると、その作成に非常に時間がかかっているようだ。

【委 員】こういった分析資料は、非常に時間がかかるもので、そこにかかる労力は大きい。こういった内部的に行うものであれば、効率的かつ効果的になるように考えなければならない。

【委 員】今、評価疲れと言われていて、いっぱい情報を入れ込んで作成するが、それが進みすぎるとフォーマット化されていき、機械的、事務的な作業になる。各課の負担感だけが大きくなって、総務課にやらされている不満が大きくなる。

【委 員】これを活かして進めているのか、ということが大事なのだが。

【委員長】いつまで、検討するのか。組織改編等の大きな作業を伴うものでなければ、検討期間を設定できると思う。

【委 員】行政サービスの中では住民の命に係わる業務もあって、予算や効率化で廃止することができないものもある。コンセプトやテーマを決め、同じ視点で評価を実施してはどうか。

【委 員】廃止する事業への説明責任を果たすことが必要。

【委 員】子育て包括支援センターと子育て支援センターが、新庁舎で一緒になるわけではない、という回答が来ているようですが、酒田市でいうと「ぎゅっと」という包括支援センターとそれぞれに支援センターがあるようです。職員の中からも、一体的に事業をやったほうが良いという意見が出ているようですね。

【委 員】米のコンテストですが、産業、働く場所をどうしていくかという役割があるのではないかと。

【委 員】担当課の回答にあるように、コンテストの品位を下げないという考えも理解できるが、何らかの工夫の余地はあるはず。

【委員長】庄内町の税金を使って開催している事業なので、庄内町にとってメリットがあるようにしなくてはならない。新聞等に取り上げられてコメの町という宣伝効果はあるだろうが、庄内町のためになっているのかという視点を持って検討いただく必要がある。

【事務局】町民の参画と協働ということについて、本当に町がすべき事業なのか、住民の方に担っていただいたほうがよいのではという事業もある中で、なかなかその芽が育っていない現状にあるのですが、ご意見をお願いします。

【委員長】町民の方が興味がない。その中でどうしていくか、アイデアを出していく、かなり刺激的

なアイデアでないと興味を持たないでしょう。社会の教科書にも掲載され、総務大臣賞を取った鯖江市の「JK 課」、JK は女子高生で、サークルのようなノリで活動できる環境を作ったんですが、当初はふざけているのかという声もあったんですが、アプリを開発したり、スイーツを開発したり、役所ではアプリの開発なんてできませんから。先進事例をみるとかなり刺激的なものです。そのぐらいのアイデアを出さないと町民の方は参加してくれない。

- 【委員】この評価している事業も、もともとは要望があって、事業になって、それがもっとうまく回っていかないのが、なぜだろうと思う。
- 【委員】国際交流協会事業について、確かに町内の外国人家庭は増えていると感じているが、予算規模も 600 万円ほどあるし、もっと支援できないものか。
- 【委員】内藤秀因記念館事業について、入場料を取れないとしているが、募金箱を設置してみるとかできないのか。50 円、100 円でも入れてもらうことで少しは足しになるわけだから、いきなりできないと決めることはおかしい。
- 【委員】タクシー券について、今は返納してから毎年交付しているが何年間だけにするとか、対象者を限定して元気な方はバスに乗ってくださいとか。
- 【委員長】まとめます。全体としては検討します、努めるというあいまいな回答が多かったので、いつまでにどうするのか、具体的な回答を求めます。個別には内藤秀因記念館事業については入場料を徴収する手法の検討を、タクシー券は上限や対象者設定を見直した制度設計ができないか、米コンテストも産業振興という視点を、ということですが他にありますか。
- 【委員】この評価自体が負担にならないよう、働き方改革ということも検討してほしい。マンネリ化しやすいので年度ごとのコンセプトや優先順位を付けたほうがいい。
- 【委員】定住促進事業について、移住者の意見を聞きながらとありますが、地元住民と移住者の関係が書かれていないので、そこをつなぐことが必要だと思うので、追加で質問し、回答をいただきたい。
- 【委員長】ただいまの 1 点を追加し、再度、担当課より回答をいただくこととします。

(2) 第 2 次行財政改革推進計画中間評価について

- 【事務局】資料により説明。
- 【委員長】こちらは来年度第 3 次計画策定が予定されているということになるようです。その策定へ向けてのご意見をお願いします。
- 【事務局】現在、第 2 次計画として平成 28 年度から平成 32 年度を期間としています。第 3 次計画は令和 3 年度から 7 年度まで 5 か年を予定しています。
- 【委員】指定管理者について、毎年評価はしていると思うが、その際に指定管理者への移行が住民にとってよかったのかどうかも確認してほしい。
- 【委員】ふるさと応援寄付金の状況はどうなっているか。
- 【事務局】下がってきている。
- 【委員】ホームページ閲覧数は伸びていますね。アンケートの数値がありますが。
- 【事務局】今年度の夏に実施したので、回収率はまだ公表されていません。
- 【委員長】第 3 次計画については本日のように意見を出していくよう進めていきたいと思います。今年度の委員会は本日の第 2 回を最終としてよろしいでしょうか。
- 【委員】異議なし

4 その他 特になし

5 閉会

(16 : 45)